

# GMO INTERNET GROUP

## 2023年12月期 通期決算説明会 質疑応答の要約

2024年2月13日に開催した決算説明会において、参加者の皆さまから頂いた質問をまとめたものです。GMOインターネットグループ代表の熊谷、CFOの安田、GMOアドパートナーズ代表取締役の橋口より回答させていただきました。なお、一部IR部門にて回答を補足させていただいております。

### ●連結

【Q1】 金融事業はタイ証券事業にかかる不良債権残高の増加があった。また、暗号資産事業においてはマイニング事業のハッシュレートが低調に推移するなどもあったが、社長の評価をお聞きしたい。

【A1】 金融については、主力商材であるFXが過去最高業績を更新しました。収益性改善施策に加え、組織の合理化やシステム改善が奏功しました。タイ証券事業では担保として引き受けている有価証券の株価変動により追加の引当が発生しています。株価水準は最低ラインまできたので、ダウンサイドは限定的だと考えています。またビジネスモデルそのものについても再構築を図り、債権残高の圧縮に取り組んでいます。

暗号資産については、暗号資産市場の盛り上がりは交換事業にとって追い風になると考えています。一方、マイニング事業については積極的な事業展開は今後も考えていません。

【Q2】 24年12月期の連結営業利益の見立てについて、基盤事業による増益に加えてプラスアルファが見込める事業、イベントもしくは反動減がありそうなマイナス要因はあるか？

【A2】 岩盤ストック収益が中心であるインフラは進行期も積み上がりを期待しています。GPUサーバーの投資については按分償却されることもあり、大きな業績インパクトはありません。金融に関しては、ここ2年はタイ証券事業にかかる引当金の影響がありましたが、進行期は影響も小さくなっていくものと見込んでいます。まとめると、21年、22年は非連続な要因があったが、23年は比較的少なく、現在のトレンドラインをひいていただくのが良いかと考えています。

### ●インフラ事業

【Q3】 単4Qはインフラ事業の力強さが際立った決算だと思う。特にGMOペイメントゲートウェイ以外の部門が業績を牽引しているようだが要因を教えてください

【A3】 ご指摘のとおり、23Q4は決済、決済以外ともに力強さが目立った四半期でした。具体的にはセグメントでは42億の増益となり、内訳としてはGMOブランドセキュリティ14億、GMO-PG7億、GMO-IG6億、GMOサイバーセキュリティbyイェラエ3億などです。

【Q4】 単4Qの増益ドライバーとして、GMOブランドセキュリティの貢献が突出しているが、持続可能性についてどう考えればよいか？

【A4】 4Qほどの規模のものが続くとは考えてはいません。しかしながら、完全なショットの案件というわけでもなく、一定の持続性はあると考えています。需要は一定あることを確認できているため、今後の収益モデ

# GMO INTERNET GROUP

ルの構築についても模索中です。

【Q5】 GPUサーバーへ投資について、詳細を教えてください。投資金額と補助金の関係、償却期間、想定される顧客など

【A5】 経産省への助成金申請が認可されることを前提として100億円の追加投資を行うものです。助成金の対象となる性能について精査中ですが、要件を満たす予定です。また減価償却については5年を予定しています。ビジネスモデルとしてはAI開発者向けのクラウド・ホスティングサービスということになります。

## ●広告・メディア

【Q6】 3Q後の決算では需要は悪くないとのコメントがあったが結果がPLに現れていないように見える。セミマクロに対する見方、取り組みを教えてください。

【A6】 ご指摘のとおり、上期は好調だった前年並みに推移していましたが、下期に入り経済再開が本格化する中で、マーケティング手法が細分化、多様化するなど顧客の予算消化が慎重になってきている印象です。結果として広告代理事業には逆風となりました。また、自社開発のアドネットワーク広告についても、広告掲載基準の厳格化、Cookie規制のマイナス影響がよりでてまいりました。対策としてはグループ内再編で広告代理、アドテクの会社を統合することで自社商材へフォーカスし、V字回復を目指します。

以上